

令和3年第10回

武蔵村山市教育委員会定例会

令和3年10月15日

武蔵村山市教育委員会

令和3年第10回武蔵村山市教育委員会定例会

1 日 時 令和3年10月15日(金)

開会 午前 9時30分

閉会 午前10時20分

2 場 所 武蔵村山市役所5階 委員会室

3 出席委員 池谷光二(教育長) 大野順布
杉原栄子 比留間雅和
潮美和

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	諸星 裕	学校教育担当部長	高橋 良友
教育総務課長	平崎 智章	教育施設担当課長	櫻井 謙次
指導・教育センター担当課長	赤坂 弘樹	学校給食課長	長谷 慶一
防災食育センター整備担当課長	矢野 喜之	文化振興課長	高橋 一磨
スポーツ振興課長	西原 陽	図書館長	藤本 昭彦
指導主事	加藤 由裕	指導主事	石井 和成

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課教育政策係 住谷 和宏
吉野恵里加

議事日程

- 1 会期の決定
- 2 前回会議録の承認
- 3 教育長報告
- 4 議案第41号 武蔵村山市教育委員会規則等で定める申請書等の押印の特例に関する規則に係る臨時代理の承認について
- 5 その他
- 6 議案第42号 武蔵村山市教育委員会事務局職員の任免に係る臨時代理の承認について

◎開会の辞

○池谷教育長 本日の会議におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、密閉・密集・密接の状況を極力回避して進めてまいりたいと思いますので、委員の皆様方には御協力をお願いいたします。

また、会議時間をできるだけ短くするように努めることも必要であると考えますので、事務局職員におきましては、簡潔な説明をお願いします。

それでは、始めます。

本日の出席委員は全員でございます。

これより令和3年第10回武蔵村山市教育委員会定例会を開会いたします。

◎議事日程の報告

○池谷教育長 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりでございます。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認め、配布のとおり決定いたします。

◎日程第1 会期の決定

○池谷教育長 日程第1、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期は、本日限りといたしたいと思っております。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りといたします。

◎日程第2 前回会議録の承認

○池谷教育長 日程第2、前回会議録の承認を議題といたします。

本件は、これを承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

よって、本件は承認されました。

本日の会議録の署名は、大野教育長職務代理者をお願いいたします。

◎日程第3 教育長報告

○池谷教育長 日程第3、教育長報告を議題といたします。

1点目でございますが、令和3年度教育関係寄贈に対する感謝状の贈呈者一覧についてでございます。

資料1を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

平崎教育総務課長、お願いします。

○平崎教育総務課長 それでは、令和3年度教育関係寄贈に対する感謝状の贈呈者一覧について御報告いたします。

資料1を御覧ください。

令和2年9月1日から令和3年8月31日までの間で、市の表彰規程に当てはまらない本市の学校教育、社会教育のために寄贈していただいた個人及び団体に対しまして、教育委員会から感謝状を贈呈したいと考えております。

対象者及び寄贈の内容等は、資料にお示ししたとおりでございます。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、2点目でございます。

令和2年度 学校保健統計書についてでございます。

資料2を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

平崎教育総務課長、お願いします。

○平崎教育総務課長 それでは、令和2年度 学校保健統計書について御報告申し上げます。

まず、1ページを御覧ください。

令和2年度の学年別身長・体重の平均値でございます。

次に、2ページ及び3ページでございますが、こちらには平成16年度以降の身長及び体重の平均値の推移をお示ししております。

4ページ及び5ページには、疾病異常等調査結果をお示ししております。

6 ページ及び7 ページには、学校感染症等による出席停止者数を、また8 ページには、就学時健診における疾病異常被患者数を記載しております。

9 ページから 11 ページまでにつきましては、心臓検診の結果をお示ししております。心臓検診は、小学校1年生、中学校1年生及びそれ以外の学年のうち、内科検診において心臓検診が必要と認められた児童・生徒を対象に実施しております。

9 ページ及び 11 ページにおいて、他学年と表示しているものは、内科検診において心臓検診が必要と認められた小学校1年生、中学校1年生以外の学年の児童・生徒数でございます。

最後に、12 ページ及び 13 ページにつきましては、尿検査の結果をお示ししておりますので、御確認いただければと思います。

説明は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、3 点目でございます。

令和3年度学校選択制申請状況（令和4年度入学）についてでございます。

資料3を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

平崎教育総務課長、お願いします。

○平崎教育総務課長 それでは、令和3年度学校選択制申請状況（令和4年度入学）について御報告申し上げます。

令和4年4月に中学校に入学する新1年生を対象とした学校選択制の申請を9月に受付した結果でございます。

本年度は76人の申請がございました。

令和4年度の入学予定者数は719人でございますので、約10.6%の児童に学校選択制の制度を御利用いただいたこととなります。

参考となりますが、令和2年度につきましては、691人の入学予定者のうち、申請は86人で12.4%の実績でございました。

資料の上段の表を御覧ください。

各中学校の状況でございますが、表の縦が転入、横が転出となっております。

第一中学校は、転入45人、転出20人。村山学園中学部は、転入0人、転出5人。第三中学校は、転入19人、転出5人。大南学園第四中学校は、転入10人、転出5人。第五中学校は、転入2人、転出41人となっております。

次に、中段の表、主な理由でございますが、友人関係、部活動、通学距離、兄弟関係、そ

の他の主な理由では、進学実績、学校パンフレット、学校設備・施設面などが挙げられています。

最後に、下段の入学予定者数の表を御覧いただきたいと思います。

こちらにつきましては、今後、転入・転出や私立学校への入学者等の状況により変動することがございます。あくまでも現時点での情報を基に算出した数値ということになりますが、参考として御報告をさせていただきます。

説明は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、4点目でございます。

第45回市立中学校総合体育大会の結果についてでございます。

資料4を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導・教育センター担当課長から報告いたします。

赤坂指導・教育センター担当課長、お願いします。

○赤坂指導・教育センター担当課長 それでは、第45回市立中学校総合体育大会の結果について御報告いたします。

資料4を御覧ください。

本年度の市立中学校総合体育大会は、7月17日から9月12日の期間で、市内各中学校の運動部活動7種目において、学校対抗の試合形式で競技が行われました。

実施いたしました7種目の競技に549人の中学生が参加いたしました。

結果等につきましては、資料4の裏面に掲載いたしました。

教育委員会としましては、今後とも中学校部活動の一層の活性化を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、5点目でございます。

新型コロナウイルス感染者の発生についてでございます。

資料5を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導・教育センター担当課長から報告いたします。

赤坂指導・教育センター担当課長、お願いします。

○赤坂指導・教育センター担当課長 それでは、新型コロナウイルス感染者の発生について御報告いたします。

資料5を御覧ください。

令和3年9月15日から9月23日までの期間において、市内小学校で4人の感染者が発生いたしました。

濃厚接触者につきましては、いずれも該当者はございませんでした。

以上でございます。

○池谷教育長 続きますして、6点目でございます。

令和3年度全国学力・学習状況調査武蔵村山市版結果報告書についてでございます。

資料6を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 それでは、令和3年度全国学力・学習状況調査武蔵村山市版結果報告書について御説明いたします。

まずは、資料6の1ページを御覧ください。

同調査は、小学校第6学年、中学校第3学年及び中学部第9学年を対象に、令和3年5月27日に実施いたしました。

対象教科等は、国語、算数・数学及び生活習慣等に関する質問紙調査となっております。

2ページから11ページは、小学校の調査結果をまとめております。

2ページを御覧ください。

小学校の平均正答数及び平均正答率をお示ししております。上段には、武蔵村山市、東京都、全国の各教科の平均正答数及び平均正答率を示しております。中段には、国語の平均正答数を、下段には、算数の平均正答数をグラフでお示ししております。

続いて、3ページを御覧ください。

こちらは、各教科領域別の結果についてお示ししております。

4ページには、問題形式別の結果を示しております。

なお、調査問題につきましては、22ページにあります二次元コードをスマートフォンなどの二次元コード読み取り機能を活用していただきますと、閲覧することができます。

説明を続けさせていただきます。

5ページ、6ページには、武蔵村山市において平均正答率が高い問題を掲載しております。

5ページ、国語においては、文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する問題に対し、平均正答率は80.3%でした。

算数においては、午後1時35分から50分後の時刻を求める問題に対し、平均正答率は

86.5%でした。

7ページ、8ページには、特に課題の見られた問題を掲載しております。

7ページ、国語においては、文章の中から中心となる語や文を見つけて要約する問題に対し、平均正答率は21.4%でした。

8ページ、算数においては、複数のグラフを比較し、割合の違いが一番大きい項目を選び、その項目と割合を答える問題に対し、平均正答率は37.2%でした。

9から11ページは、児童質問紙と学力のクロス分析についてです。

9ページは、平日、テレビゲームに費やす時間と平均正答率の相関関係を示したものです。テレビゲームに費やす時間が少ないほど学力が高い傾向にあります。

10ページは、平日、授業以外の学習時間と平均正答率の相関関係を示したものです。家庭学習に時間を費やすほど平均正答率が高い傾向にあります。

11ページは、学習に取り組む姿勢と平均正答率の相関関係を示したものです。主体的に学習に取り組むほど平均正答率が高い傾向にあります。

12ページから21ページは中学校の調査結果をまとめております。

12ページを御覧ください。

中学校の平均正答数及び平均正答率をお示ししております。上段には、武蔵村山市、東京都、全国の各教科の平均正答数及び平均正答率を示しております。中段には、国語の平均正答数を、下段には、算数の平均正答数をグラフでお示ししております。

続いて、13ページを御覧ください。

こちらは、各教科領域別の結果についてお示ししております。

14ページには、問題形式別の結果をお示ししております。

15、16ページには、武蔵村山市において平均正答率が高い問題を掲載しております。

15ページ、国語においては、「伸ばして」を正しく読む問題に対し、平均正答率は95.4%でした。

16ページ、数学においては、表やグラフから必要な情報を適切に読み取る問題に対し、平均正答率は91.7%でした。

17、18ページには、特に課題の見られた問題を掲載しております。

17ページ、国語においては、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つという問題に対し、平均正答率は11.0%でした。

18ページ、数学においては、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を説明する問題に対

し、平均正答率は4.1%でした。

19 から 21 ページは、生徒質問紙と学力のクロス分析についてです。

19 ページは、平日、テレビゲームに費やす時間と平均正答率の相関関係を示したものです。おおむねテレビゲームに費やす時間が少ないほど学力が高い傾向にありますが、最も平均正答率が高いのは、1時間より少ないと回答した生徒群でした。

20 ページは、平日、授業以外の学習時間と平均正答率の相関関係を示したものでございます。どちらの教科も2時間以上、3時間より少ないと回答した生徒群の平均正答率が最も高いです。

21 ページは、学習に取り組む姿勢と平均正答率の相関関係を示したものです。学習に主体的に取り組むほど平均正答率が高い傾向にあります。

今年度、学力向上推進委員会の取組として、各学校において、東京ベーシックドリルの積極的活用により、反復学習を重点化し、基礎・基本の定着を図っております。今回の学力調査の結果について、学校、同委員会で共有し、学力向上の取組に生かしてまいります。

今後も、児童・生徒の学力向上に資する指導の充実が図られるよう、教育委員会として指導、助言してまいります。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、7点目でございます。

令和3年度武蔵村山市立小・中学校研究発表会についてでございます。

資料7を御覧いただきたいと思っております。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 それでは、令和3年度武蔵村山市立小・中学校研究発表会について御説明いたします。

こちらは、令和3年度に実施いたします研究発表の日時等について一覧にまとめたものでございます。

1段目、第一小学校が令和4年2月4日金曜日に、2段目、第三中学校が令和4年2月10日木曜日に、どちらも市の特色ある学校づくり推進校としての発表を行います。

3段目は、第九小学校の第17回全国小学校英語教育実践研究会東京大会が令和4年1月28日金曜日に行います。こちらの発表内容については、発表会当日、第九小学校において事前に撮影、録画した授業動画を公開するなどとしております。

全ての学校の研究発表は、それぞれ重要な教育課題への取組になっていることから、できる限り多くの教員が参加できるよう、各校長に依頼をしたところでございます。

教育委員会としましては、各学校の研究を通して、児童・生徒の生きる力を育めるよう、引き続き支援してまいります。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、8点目でございます。

令和3年度授業改善推進プランについてでございます。

資料8を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

石井指導主事、お願いいたします。

○石井指導主事 それでは、令和3年度授業改善推進プランについて御説明いたします。

これまで、授業改善推進プランは、東京都教育委員会及び本市教育委員会児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果分析等に基づき、授業を改善するための計画として、各学校において作成をしておりましたが、今年度は、東京都教育委員会児童・生徒の学力向上を図るための調査が学びに向かう力などを中心に調査することとなっていることや、実施時期が10月以降となり、結果の分析が年度末になることなどから、都学力調査の結果を含まないことといたしました。

また、本市における学力向上施策の取組などとの関連を明確にし、授業改善の重点化を図る必要があることから、作成内容について見直しを図り、記載事項を学校全体で取り組む事項、国語、算数・数学、体育・保健体育における児童・生徒の実態・課題、授業改善の取組、取組結果とすることといたしました。加えてこれまで作成の対象としていなかった特別支援学級においても、第五次武蔵村山市特別支援教育推進計画に基づき、今年度は作成することといたしました。

お手元の資料は、行政順に並べたものですが、今年度作成した中から小学校1校、小学校特別支援学級1学級、中学校1校について、簡単ではございますが、御説明いたします。

まずは、第一小学校です。

1ページを御覧ください。

学校全体で取り組む事項としましては、「分かる授業」の展開に努め、「褒める」ことを積極的に行うことなどを基盤としております。

算数における児童の実態・課題においては、四則計算や求積など基礎・基本の定着が課題

とあります。これを受けて、学校全体で朝学習で東京ベーシックドリルを用いて、既習内容の反復演習を増やすこととしています。進行する授業の学習時間を確保しつつ、学年の既習事項を確実に身に付けさせるため、反復学習の機会を設定するという計画が立てられています。

次に、第一小学校特別支援学級（知的障害学級）です。

2 ページを御覧ください。

学級全体で取り組む事項としましては、個別指導計画に基づき、個々の障害の特性に応じた丁寧な指導を実践していくことが明記されています。丁寧な指導を基盤に、国語、算数、体育において、課題として挙げられている項目について解決が図られるよう、授業改善の取組を実践してまいります。

第一小学校は、特色ある学校づくり推進校として、対話を大切にした授業づくりを推進しております。今後、授業改善推進プランと併せて、研究の成果が表れるよう指導してまいります。

最後に、第五中学校です。

20 ページを御覧ください。

学校全体で取り組む共通事項では、基礎・基本の定着の重視、問題解決的な授業の展開、言語能力の育成などを挙げています。

具体的な授業改善の取組としては、国語においては、意味調べや単元ごとの小テストを実施し、語彙力、読解力の定着を図ることや、数学においては、授業の始めに前時の復習を行うことや東京ベーシックドリルを活用すること、保健体育においては、コロナ禍において生徒の体力が低下していることなどから、全身持久力の強化を図るための取組を行います。

以上、小学校1校、小学校特別支援学級1学級、中学校1校について説明させていただきました。

各学校においては、このプランを基に、具体的に日々の授業改善を図っております。学力向上を図るためには、児童・生徒が課題とするものをできるようにするまで反復する基礎・基本の定着と、児童・生徒が主体的・対話的に学びを深められる授業改善が必要と考えます。

教育委員会としましては、各学校のプランに基づいた各校の取組の充実に向け、また学習指導要領が目指す児童・生徒の学びが展開されるよう、若手教員育成研修や様々な研修の場で、各学校での校内研究、授業観察を通して指導してまいりますので、御理解賜りますようよろしくお願いいたします。

私からは以上です。

○池谷教育長　続きまして、9点目でございます。

令和3年度武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業いきいきわくわくスポーツ教室の開催結果についてでございます。

資料9を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

西原スポーツ振興課長、お願いします。

○西原スポーツ振興課長　それでは、資料9、令和3年度武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業いきいきわくわくスポーツ教室の開催について報告いたします。

10月3日日曜日に開催した本事業につきましては、陸上の指導、教室などで多くの実績をお持ちの井原直樹さんと宮内優さんをお招きし、多くのスポーツの基本となる「走る、投げる」をテーマとした陸上教室を行いました。

陸上教室には109人に参加いただいたところでございます。小学生低学年が38人、高学年が21人の合計59人の参加、中学生の参加はございませんでした。親子での参加も多く、楽しく、また真剣に取り組んでくださり、大変満足してお帰りいただけたのではないかと考えております。

教育長並びに教育委員の皆様におかれましては、御多用の中、開会式に御出席をいただきありがとうございました。御礼を申し上げます。

以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、10点目でございます。

図書館除籍資料の無償配布についてでございます。

資料10を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、図書館長から報告いたします。

藤本図書館長、お願いします。

○藤本図書館長　それでは、図書館除籍資料の無償配布について御報告いたします。

この事業は、武蔵村山市立図書館資料廃棄基準に基づき、除籍した図書を毎年市内の公共施設や市民へ無償配布し、資料の再活用を図るものでございます。

今年度は11月4日木曜日及び5日金曜日に、児童書を市内小・中学校のほか、児童館等の公共施設、市内幼稚園、保育園を対象として、また、11月8日月曜日から30日火曜日までは、一般書及び児童書を市民の方を対象として、各図書館で配布します。

配布する資料は、合計約 5,600 冊を予定しております。

図書館からは以上でございます。

○池谷教育長 教育長報告は以上でございます。

11 点目のその他でございますが、特に報告等はございません。

教育長報告に対する質疑等があればお受けいたします。

大野職務代理人、お願いします。

○大野職務代理人 報告の 6 番目、全国学力・学習状況調査の結果報告書についてですけれども、生活習慣とのクロス分析など、今後の学力向上に向けて大変貴重な資料だと思いました。ぜひ多くの方に見ていただきたい報告書だと思ったのですが、ホームページなどでの公表する予定はございますでしょうか。

○池谷教育長 石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 ホームページの掲載につきましては、今後検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○池谷教育長 大野職務代理人、いかがでしょうか。

○大野職務代理人 ありがとうございます。いろいろ検討して載せていただくという方向でぜひお願いしたいと思います。また、ホームページに掲載した際には、こんないい資料、こんな有用な報告書が載っていますよといろんところで PR いただくことも併せてお願いしておきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

○池谷教育長 どうもありがとうございます。

杉原委員、お願いします。

○杉原委員 それでは、同じく資料 6 ですけれども、今、大野職務代理人からもありましたけれども、大変貴重な報告書だと思います。調査というのは、単なる調査結果を報告するのではなくて、調査の結果を活用して、学力向上につなげるということが大事だと思います。そういう点で、この資料は非常に学ぶべきものが多いと感じました。

しかし、大人が調査結果を子供に説明をしたとしても、子供の心にはあまり深くは響かないだろうと思います。先ほど指導主事の方が、学校へ活用の指導、助言をしてまいりますとおっしゃったので、大変期待しております。

例えば、このクロス集計で、ゲームをやっている時間数や国語、算数・数学の正答率との関連、また、授業以外の勉強時間数との関連や主体的な取組の意識との関連など、非常に考

えさせられることが多い素晴らしい教材になると思います。

学校においても、大人が読み取るだけでなく、子供が主体的に読み取って、自分たちで学んで生かしていくことも大事だと思います。統計的な見方でいえば算数・数学にもなりますし、自分の生活に関連しており、学級活動や総合的な学習の時間にもなると思います。子供たちがここから読み取れることを自力で解決して、グループで話し合っ、そしてグループ発表やプレゼンテーションを行うことで、子供たちはここから学んだことを自分の生活に生かそうとするとします。また、正答率の高い問題や課題が多い問題もありましたが、間違えたり分からなかったりしたときが一番チャンスなので、クラスで振り返って、正しいとか正しくないではなく、どのように考えたかというプロセスを振り返りながら話合うことで、学ぶことができると思います。

無回答率というのがあるのですが、考えるきっかけをつかめなかった子供にとっても、考えながらもつまづいたと思うので、正答を導き出した子供が戸惑いながらどのように考えたのかとかいうことを、授業の中で振り返られるといいと思います。

せっかく正答例や解説の資料などもありますので、子供たちも発言しながら、一緒に復習していくことによって学力の向上につながると思います。いろいろ細かく御指導して下さるとは思いますけれども、ぜひ学校での活用を推進し、学力向上につなげていただくことをお願いしたいと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。しっかりやらせていただきます。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 私からも全国学力・学習状況調査の結果報告書についてでございます。

小・中学校ともに、各教科において無回答率というのがとても高かったということが気になりました。これについて教育委員会ではどのように捉えていらっしゃるのかということ、また今後の取組など何かお考えがありましたら聞きたいと思います。お願いいたします。

○池谷教育長 石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 無回答率が多いということなんですけれども、やはり基礎・基本が定着していないことが要因として挙げられるのではないかなというふうに捉えております。

今後、授業改善推進プランにある取組により、児童・生徒が主体的に学ぶ授業がより充実が図られるようにするとともに、分かりやすい授業を通じて基礎・基本の定着が図られるように指導してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。私たちも拝見するときに、どうしても正答率というのが気になるところではありますけれども、この無回答率というのが高かった問題にもぜひ意識をもって御指導をお願いしたいと思います。

○池谷教育長 比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 私もこの件につきまして、先ほど大野職務代理者、杉原委員とのお話と重複するところもあるんですが、この結果について、該当する学年の保護者などにもこういった結果というのは特に公表されていないということでよろしいでしょうか。

○池谷教育長 石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 市の調査結果については、当該学年の保護者にも周知はしていないというところでございます。

以上でございます。

○比留間委員 クロス分析の結果や、生活習慣と学力の結果、課題が見られた問題などについて、非常に細かく分析されて素晴らしいと思います。この結果を家庭に持ち帰って、保護者の皆様と子供たちが家庭でも話し合うことができると、さらに学力向上につながるのかなと思います。ぜひ御検討いただきたいと思います。よろしくお願いします。

○池谷教育長 杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 資料8、授業改善推進プランについて、各学校とも児童・生徒の実や課題を捉え、改善の取組について、非常によくまとめられていると思います。どの学校もドリルとかベーシックドリルの繰り返しなど、スキルを重視していることを感じました。

ぜひお願いですが、算数でも何でもありますけれども、オープンエンドな問題、答えが幾つもあるような問題を、自分の経験に照らしながら、考え、解決し、発表できるような、問題の開発もぜひやっていただければと思います。そうすると、子供たちは、一つの答えを導かれるままに考えるのではなくて、子供が自ら自分の経験を元に発表したり解決したりできると思います。学力向上推進委員会などもありますので、ぜひ開発していただければと思います。これはお願いです。

○池谷教育長 比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 資料3、令和3年度学校選択制の申請状況につきまして、ここ数年の傾向にあったように、今年度も第一中学校への希望者が多いように見受けられます。今年も抽選になるのでしょうか。

○池谷教育長 平崎教育総務課長、お願いします。

○平崎教育総務課長 お答えをいたします。

今年度も第一中学校を希望される御家庭が多数おありまして、抽選会を実施する予定でございます。

以上でございます。

○池谷教育長 比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 申請をしました子供たち、いろいろな理由や事情もあると思います。できるだけ子供たちの希望をかなえてあげたいとは思いますが、子供たちが中学校に行つて何がしたいのか、何をするためにその中学校に行くのか、そういったところを学校の先生方におかれましては、来年度以降も引き続き子供たちや保護者の方々とよく御検討いただき、話し合いを重ね、この制度をより充実させていただければと願っております。

以上です。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって教育長報告を終わります。

◎日程第4 議案第41号 武蔵村山市教育委員会規則等で定める申請書等の押印の特例に関する規則に係る臨時代理の承認について

○池谷教育長 日程第4、議案第41号 武蔵村山市教育委員会規則等で定める申請書等の押印の特例に関する規則に係る臨時代理の承認についてを議題といたします。

議案の朗読は省略させていただきます。

議案第41号の提案理由を説明させていただきます。

武蔵村山市における押印見直しの指針の施行に伴い、規則を制定する必要があり、武蔵村山市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第1項の規定により臨時に代理したので、本案を提出するものでございます。

なお、内容につきましては、教育総務課長から説明いたさせますので、よろしく御審議の上、御承認を賜りたくお願い申し上げます。

平崎教育総務課長、お願いします。

○平崎教育総務課長 それでは、議案第41号 武蔵村山市教育委員会規則等で定める申請書等

の押印の特例に関する規則に係る臨時代理の承認につきまして御説明いたします。

こちらにつきましては、武蔵村山市における押印見直しの指針の施行に伴い、規定の整備を行うものでございます。

別紙を御覧ください。

規定の趣旨でございますが、市民の負担の軽減及び利便性の向上を図るため、教育委員会の規則等で定める申請書等の押印を省略するための特例規定を定めるものでございます。

現在、市長部局において対象となる規定の整理を行っておりますので、それに基づき教育委員会において内容を整理し、第2条に規定のある教育長が別に定めるものとして一覧表を作成し、決定をしたいと考えております。

説明は以上でございます。

○池谷教育長 これより質疑に入ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

(発言する者なし)

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより議案第41号 武蔵村山市教育委員会規則等で定める申請書等の押印の特例に関する規則に係る臨時代理の承認についてを採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり承認することに決しました。

◎日程第5 その他

○池谷教育長 日程第5、その他に入ります。

委員からの報告等の御発言があればお受けいたします。

(発言する者なし)

○池谷教育長 事務局からの報告等の御発言があればお受けいたします。

(発言する者なし)

○池谷教育長 これをもって、その他を終わります。

○池谷教育長 次に、日程第6、議案第42号の審議をいたします。

この議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定に基づき、秘密会で審議したいと思います。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

よって、秘密会とすることに決しました。

ただいまから会議を秘密会といたします。

ここで関係者以外の職員が退席いたしますので、暫時休憩いたします。

午前10時15分休憩

午前10時16分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎日程第6 議案第42号 武蔵村山市教育委員会事務局職員の任免に係る臨時代理の承認について

◎閉会の辞

○池谷教育長 以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもって、令和3年第10回教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午前10時20分閉会